

令和5年度 桜原運動公園 事業評価表

【 指定管理者名 木下緑化建設株式会社 】

各項目の評価基準						
評価	評価	提案事項	管理水準		評価	総合点
5	10	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。		A	85点以上
4	8	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上)(標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)		B	80点以上85点未満
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。		C	70点以上80点未満
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。		D	70点以上60点未満
1	2	提案事項遂行していない。 (提案事項を遂行していないことに正当な理由がない)	公園管理上著しい失態があるなど、本市が求める管理水準を達していない。		E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1)利用者サービスの向上策	20		18	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができているか。	10	提案事項	10	高齢者や障がい者の方がどのような助けが必要か理解するために、講師の派遣を依頼し、研修を受講した点や、専門家の意見を踏まえ、対応できる範囲で効果的な修繕を行った点が評価できる。
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承認(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(2)利用者の適切利用に向けた取組	5		4	
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(3)公園施設の適切・効率的な維持管理	25		22	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができているか。	10	提案事項	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安警備計画ができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	10	管理水準	10	実施協定書以上の維持管理業務を行えている点が評価できる。
(4)公園の特色を活かした事業展開	15		14	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされているか。	10	提案事項	10	野球場閑散期の1月に、プロ野球キャンプ前の自主練を受け入れ、野球教室を開催するなど、閑散期における施設の有効活用に繋げている点が評価できる。
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(5)運営体制と人材の確保	25		21	
⑩ 配置する予定職員の公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑪ 地域との連携	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	5	遅延等することなく、的確に実施できている。
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。				
⑭ 「歳入の手引き」を理解し、適切に実施しているか。	10	管理水準	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(6)施設の管理運営に要する経費	5		4	
⑮ 施設管理に要する経費の縮減について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び縮減の具体的項目、実施手法はできているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(7)団体の財務的基礎	-	-	-	
⑯ 借入金依存度	-	-	-	
自己資本比率				
(8)社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	5		4	
⑰ 社会的貢献とコンプライアンス、環境への取り組みができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(9)その他	-	-	-	
	-	提案事項	-	
評価 総合点			87 /100点	(評価) 地域と連携したマルシェ開催、マルシェを新規事業者の経験の場として活用するなど、随時見直し、マンネリ化しないよう創意工夫ができている点が評価できる。
				(課題) 施設の経年劣化による修繕箇所を増、樹木の成長による高木化・大径化など、維持管理に必要なコストが年々増えているため、市担当者と協議し、計画を立てていく必要がある。